

# 考える村・語録の道エリア 木々と話し人生を考える タコノ山ハイキングコース

村のふもとからタコノ山(高尾山)の山頂を目指して上っていく登山コース。四季折々の木々を眺めながら村を一望できる展望台を目指します。考える村の考堂からはキラキラ光る太平洋が目の前に広がります。

## モデルコース 歩行距離 約5km(往復約3時間)

START▶午前の部●9:30集合 午後の部●13:00集合

①天満宮→②石鎚神社→③展望台→④考える村→⑤語録の道散策



牛の石像

### ①天満宮

菅原道真公ゆかりの牛の石像が参拝者を迎える神社。その脇道から登山道に入ります。



### ②石鎚神社



### ④考える村

坂本龍馬像建立の立役者であった入交好保氏が開設した施設で広い考堂は研修施設としても利用されています。

日常を離れて考える村の理念である「自然の中に人間の生きるを考える」ことができる静かな場所です。



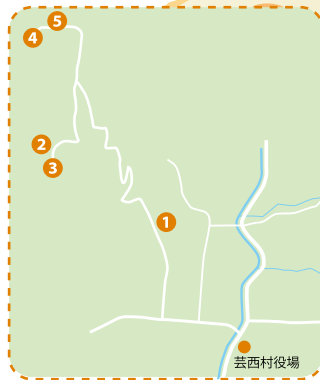
### ③展望台

標高271mにあり、村が一望できる絶景ポイントです。



### ⑤語録の道散策

土佐が生んだ偉大な先人の語録の碑が並ぶ道です。沈黙の遊歩道とも言われ、険しいルートで、時間に余裕があり、体力に自信のある方のみ挑戦ができます。



# 村の産業エリア マイカーで楽しんで 村のみのり満喫コース

西分駅付近の酒蔵跡から基幹産業のビールハウス地域を巡るコース。陽だまりのビールハウスで作られた野菜や花が出荷されるまでの仕組みや地元食材を使った料理や体験などが楽しめます。

## モデルコース 走行距離 約4.2km(約1時間~3時間) 体験によって異なります

START▶午前の部●9:30集合 午後の部●13:00集合

①響屋→②長谷地蔵尊→③園芸集出荷場→④村の家→⑤伝承館(黒砂糖づくり体験)



### ①響屋

明治36年創業、平成5年まで営業していた丸共醸造(株)の建物です。造られていた清酒は響屋(ヒビキナダ)の名称で販売されていました。現在は一部改装をして酒蔵を営んでいますが、倉庫として使用している所は酒蔵そのままの姿で釜や煙突が残っています。



### ③園芸集出荷場

ハウスで栽培されている野菜や花が出荷のために集められています。大きさを選別や自動梱包などをコンピュータで管理する野菜工場さながらの様子を見ることができます。



### ⑤伝承館(黒砂糖づくり体験)

江戸時代から変わらない方法で製糖している黒砂糖「白玉糖」(11月~1月)と竹の子笠(まんじゅう笠)を作っている施設です。

◆黒蜜を煮詰めて黒砂糖を製糖する体験もできます(別途体験料 2,000円/1人 最少人数4人 最大人数20人)

### ④村の家

憩ヶ丘運動公園内にある宿泊施設で、2,000本の桜や星空が楽しめます。星の形をしたレストラン「サザンクロス」では地元野菜を使ったランチも提供しています。  
◆定休日:土日祝日(含宿シーズンは営業していない場合があります) TEL 0887-33-2894



# 馬ノ上エリア いにしへの跡を訪ねて 馬ノ上てくてくコース

戦国時代の工夫が残された史跡を中心に巡るコース。敵をまどわすための丁字路が現在も残っている町並みや古墳時代の横穴式石室の古墳の石なども眺めることができます。海援隊の「大極丸」船長として活躍した安岡金馬が生まれ育った屋敷跡や顕彰碑などを散策します。

## モデルコース 歩行距離 約3km(約2時間)

START▶午前の部●9:30集合 午後の部●13:00集合

①中の城跡→②安岡金馬顕彰碑→③上杉鉄三郎生家→④馬ノ上丁字路→⑤安岡重房住宅跡→⑥御林神社→⑦馬ノ上古墳→⑧安岡家住宅跡→⑨八王子宮権現宮



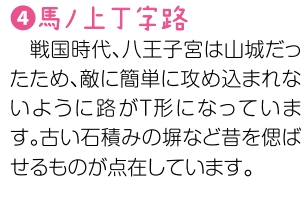
### ①中の城跡

戦国時代に建てられた城で後に安岡家居城になった場所です。屋敷の白壁の塀は海上からの漁船の目印にされていたと言われています。



### ②安岡金馬顕彰碑

14歳の時、田野学館で中岡慎太郎と交わり後に勝海舟の航海術を学び、坂本龍馬の同志となった安岡金馬。龍馬亡き後も妻のお龍を助けました。横須賀海軍に勤務し没後100年を記念し1994年(平成6年)顕彰碑が建設されました。



### ④馬ノ上丁字路

戦国時代、八王子宮は山城だったため、敵に簡単に攻め込まれないように路がT形になっています。古い石積みの塀など昔を偲ばせるものが点在しています。



### ⑥御林神社

瓦葺の入母屋造りで、木製の回り舞台があった神社。床下を覗くとその仕組みを見ることが出来ます。夏の夜にはホタルも見られるスポットです。



### ⑦馬ノ上古墳

墳丘の直径約16メートルの円形古墳は頂上部に石室の一部と見られる約2メートルの平らな石があります。きれいな状態で残っている県内でも珍しい古墳です。



# 和食・琴ヶ浜エリア 琴ヶ浜と"おりょうロード" 幕末てくてくコース

芸西村を横断するように広がる琴ヶ浜。東西約4kmにわたる海岸は文化財名勝指定や日本白砂青松100選にも選ばれています。松林と海岸線の美しさを味わいながら、なぜここに坂本龍馬の妻、お龍の像が建っているのかを紐解いていきます。日本で初めて導入されたボックスカルバート工法の水門や、国の有形文化財の末延邸周辺をめぐる、お龍が通った道てくてく歩きます。



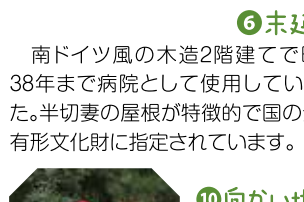
### ①文化資料館・筒井美術館

龍馬と同じ海援隊士として活動した安岡金馬と菅野寛兵衛、お龍など幕末関係の資料や農業民具などを展示しています。2階には、洋画家の筒井広道氏の作品など企画展も開催しています。



### ③千屋家跡

お龍が身をよせていた庄屋の跡地で、妹の君枝の嫁ぎ先です。



### ⑥末延邸

南ドイツ風の木造2階建てで昭和38年まで病院として使用していました。半切妻の屋根が特徴的で国の登録有形文化財に指定されています。



### ⑩向かい地蔵

昔人々は和食川を歩いて渡っていました。そんな旅人の安全を願って両岸から2体の地蔵が見守っています。今も地域の人たちに大事にされ、常にお供えものが祀られています。近くにはかつばの銅像も手をあげてお出迎えています。

### ⑦お龍・君枝像と琴ヶ浜

ゆるやかに弧を描く約4kmも続く美しい海岸(遊泳はできません)太平洋に向かって手をふる姉妹像がシンボルです。昔は地引網も盛んに行われていました。木製のデッキでゆったり海を眺めたり、松林をウォーキングしたりと人気のスポットです。



### ⑪かっぱ市

地元の新鮮な野菜や魚、特産の黒砂糖や寿司などが並びます。彩り豊かな切り花も手に入ります。

## モデルコース 歩行距離 約3km(約2時間)

START▶午前の部●9:30集合 午後の部●13:00集合

①文化資料館→②入交家跡→③千屋家跡→④岡本家→⑤仙頭酒蔵→⑥末延邸→⑦お龍・君枝像→⑧松林遊歩道→⑨掘切導流堤→⑩向かい地蔵→⑪かっぱ市  
※観光バスの場合は①+⑦~⑩と⑤のメランジュ観察コースがおススメ

